

提出 順番	No. 2	平成26年5月26日 (午前)・午後11時45分
----------	----------	-----------------------------

平成26年5月26日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 前川 雅志



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
幕別町の活性化と過疎対策をどう考えるか	昨年11月の議会報告会において、役場庁舎を新築するだけで町は活性化されない、同時に活性化と過疎とならないことを考えるべきという趣旨の意見が一昨年に引き続き出された。 これまで町は、空き店舗対策、定住促進、小学生までの医療費の無償化等を行い、それぞれ成果を上げてきた。特に定住促進住宅建設費補助金交付事業は、本町地域に多くの方々を招きよせた。また、これからマイホームを持とうとする世代からは、他の市町村と比較し、小学生までの医療費の無償化が幕別町、特に札内地域に家を建てる決め手になったという声を数件聞いている。 活性化と過疎対策は、他にも景観や道路のアクセス、商工振興、観光等様々考えられる。以下、伺う。 ① 平成25年に129人の転入超過となったが、要因をどのように分析されているのか伺う。また、本町・札内・忠類の出生、死亡を合わせた人口の推移と予測を伺う。 ② 町と町を結ぶ道路は、町の活性化に欠かせない物である。幕別本町に入るウエルカムロードの国道38号線は老朽化した止若橋、道々との交差点の急カーブや跨線橋の急勾配等、事故危険区間リストに掲載され、朝晩の渋滞の解消と交通安全の確保が急がれる。国道38号線の4車線化とバイパスの計画について、これまでに二度伺っているが、二度とも「道東自動車道の全

ふるさと館と蝦夷文化考古館の建て替えと財政計画	線開通後の交通体系のあり方などを見定め、長期的な視点で進めざるを得ない状況」ということである。北海道が策定した「帯広圏交通体系マスタープラン」に示されたように、道東道開通後、国道３８号線の交通量が減少したのか伺う。また、国道３８号線の４車線化とバイパスを二つ求めることに無理がある。そろそろどうするか等、開発と協議が必要と思うが所見を伺う。併せて、開発は現状をどのように捉えているのか伺う。 ③ 空き店舗や廃屋等、街並みの再開発の考えを伺う。 ④ 忠類地域住民会議をどのように評価しているか伺う。 ⑤ 活性化と過疎対策は、何か一つの事業で解決するものではない。町はこれまで様々な対策を行っているが、他にどのような特効薬の開発が必要なのか簡単に思い付きません。しかし、過疎でも元気なまちづくりを行う議論を重ねる必要があると思う。今後の取り組みとして、幕別町（特に本町）の活性化と過疎対策をどう考えるか伺う。 ふるさと館と蝦夷文化考古館の複合施設検討の考えが示された。考古館については、歴史的に現在地での改修もしくは改築が望ましいのだろうと思うが、ふるさと館については、近年の入場者数を見ると必要性に疑問を感じる。町民、児童・生徒は、どのようにふるさと館を活用し、郷土の歴史・文化の正しい理解につなげているのか伺う。また、百年記念ホール建設時に土地を取得しているが、当時は、温水プールや歴史民俗資料館の併設が提案されている。今でも生きている計画なのか伺う。 役場庁舎改築、札内福祉センター改築、百年記念ホールの改修、町民会館の耐震改修、札内東町民プールの施設整備や農業者トレーニングセンター改修と続き、小中学校校舎もどんどん老朽化している。更に建築事業だけではなく、土木事業や農業土木事業等も併せて計画的に進めなくてはならない。必要な公共事業は計画的に進めるべきでありブレーキをかけるつもりはないが、急激な財政支出の増加が心配される。建て替える場合の全体の財政計画を伺う。
--------------------------------	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。